

研究所彙報 XX

—1973.12～1974.11—

- 学会および研究会報告
- | | | |
|--|-------------|---------|
| 〔日本地理学会〕 | 1974年4月3日 | 東京大学 |
| 「不飽和帯における水分量の季節変化について——今市扇状地の場合」 | | |
| | 宮沢哲男 | |
| 〔日本地理学会〕 | 1974年4月4日 | 東京大学 |
| 「日本におけるクマの捕獲統計の変動」 | | |
| | 千葉徳爾 | |
| 〔日本地理学会〕 | 1974年4月4日 | 東京大学 |
| 「トロントにおける短波長放射 Flux と Lettau の Climatedonomy について」 | | |
| | 山下脩二 | |
| 〔東京教育大学地理談話会〕 | 1974年5月21日 | 東京教育大学 |
| 「日本における常民的労働組織の分布形態」 | | |
| | 千葉徳爾 | |
| 〔関西社会学会〕 | 1974年5月24日 | 香川大学 |
| 「シンポジウム『水と村』 (討論者) 牧野由朗 | | |
| 〔関西社会学会〕 | 1974年5月25日 | 香川大学 |
| 「漁業社会学の提唱とその問題点」 | | |
| | 川越淳二 | |
| 〔気候水文学研究委員会〕 | 1974年7月6日 | 立教大学 |
| 「気候学の方法について」 | | |
| | 山下脩二 | |
| 〔美夫君志会〕 | 1974年7月23日 | |
| 静岡県引佐郡三ヶ日町下尾奈および三ヶ日町三ヶ日 | | |
| 同郡細江町気賀 | | |
| 同県浜松市市野町 | | |
| 『万葉集』巻第十四, 東歌に見える「平野の峯」(3448) | | |
| 「あらたまのきへ」(3353), 巻第七に見える「吾跡川」 | | |
| (456) および巻第廿に見える「白羽の磯」「贅の浦」 | | |
| (4323) の研究 | | |
| | 夏目隆文 | |
| 〔日本地理学会〕 | 1974年9月14日 | 東京大学 |
| 「都市の放射収支に関する一考察」 | | |
| | 山下脩二 | |
| 〔日本地理学会〕 | 1974年10月10日 | 富山大学 |
| 「カナダ諸都市における微雨日数について」 | | |
| | 山下脩二 | |
| 〔アジア政経学会〕 | 1974年10月29日 | 東京亜細亜大学 |
| 「中国王朝革命の補説」 | | |
| | 鈴木中正 | |

現地調査

〔幡教庵寺金堂址踏査〕

夏目所員は1974年2月4日 静岡県引佐郡三ヶ日町大字只木地内 扇山において, 林野庁の要請による 保存地域設定に伴う 緊急調査のため

め協力を得て調査し、新たに礎石2を発見、従来確認されたものを加えて全部そろそろ。3間4方の堂（南面）となることを知り、また付近に石階遺構も確認した。

〔可睡斎僧録文書の調査と修復〕

歌川所員を主任として、鈴木泰山・坂井両所員は本学村長利根朗教授、古瀬吉秀講師、河合正樹豊橋市史幹事、愛知学院大学鈴木鋭彦教授、同大鈴木哲雄助教授、磐田市史主任清水秀明氏、同市誌幹事徳橋氏その他愛大OB3名学生5名らとともに1974年3月2日～4日（本年度5回目）、静岡県袋井市可睡斎において全280冊の僧録文書の調査と修復を行なった。

〔白山山麓の地名〕

千葉所員は1974年5月16日～5月19日、7月25日～7月27日、10月25日～10月27日の期間、学生とともに石川県白峯村において地名調査を行ない、地図として白山自然保護センターより刊行を予定している。

〔地中温度調査〕

山下所員は1974年6月7日～6月10日にかけて立教大学西沢利栄教授とともに、長野県菅平において地中温度の垂直分布と水平分布を観測し、その形成過程をより精細に把握した。

〔不圧地下水の性状調査〕

宮沢所員は1974年7月9日～7月12日にかけて山下所員、学生11名とともに渥美郡田原町において調査を行ない、地下水の流動状況、小河川（汐川）と地下水の交流関係、地下水と地形・地質・水質との対応について明らかにした。

〔真珠恐慌と養殖業の変動について〕

後藤所員は中田実名大助教授とともに1974年7月10日より7月13日にかけて三重県志摩郡大王町船越および志摩町御座において真珠恐慌と養殖業の変動について調査を行なった。

〔茶属の分布と飲茶風俗について〕

松下所員は1974年7月11日～7月13日にかけて香港ランタオ島において調査を行ない、茶属として1～2種が認められ、広東省系の飲茶風俗であった。

〔菅江真澄の遺蹟調査〕

近藤所員は1974年7月17日～7月20日にかけて豊橋市史編集関係者3名とともに秋田市および角館市において遺蹟調査を行なった。

〔山村の社会構造と親族組織〕

坂井所員は1974年7月～9月の間、北設楽津具村において調査を行なった。

〔小気候の体系的調査〕

山下所員は1974年8月9日～8月11日、11月1日～11月5日の期間、立教大学西沢利栄教授、山梨大学吉村稔助教授らとともに長野

県営平において調査を行ない、その成果は春の学会に発表予定のため、原稿整理中である。

〔仙鱗等膳と家康〕

鈴木泰山所員は御長男鈴木泰史氏とともに1974年8月17日静岡県臨済寺において今川家分限帳を撮影、8月30日袋井市可睡斎において可睡斎御由緒口訣室中秘録分を撮影、また8月21～22日篠島正法寺・磨刹妙見斎址（1泊）において妙見斎址外状況写真10余枚撮影、川舟による知多湾航行の可否聴取（岡崎城・矢作川との関連における）を試みた。

〔蔵王火山の災害史〕

千葉所員は1974年8月19日～8月30日にかけて宮城県白石市蔵王町七ヶ宿町において調査を行ない、現在水利科学研究所に報告書を提出刊行を予定している。

〔山村の変容に関する社会学的研究〕

牧野所員は坂井所員、学生らとともに1974年9月25日～9月27日にかけて愛知県北設楽郡津具村下津具において調査を行ない、基礎的資料の蒐集を行なった。

〔沿海漁村の社会生産構造〕

島本所員は1974年9月25日～9月28日にかけて学生4名とともに三重県海山町白浦において調査を行ない、その成果は現在整理中である。

〔河川水温の形成と水理幾何〕

山下所員は1974年10月2日～10月5日にかけて宮沢所員・地理学専攻学生らとともに南設楽郡榎原川流域において河川水温の形成過程と榎原川流域の水理幾何の調査を行なった。その成果は水温の研究に投稿の予定である。

〔三方原合戦の北遠天野族の研究調査〕

鈴木泰山所員は御長男鈴木泰史氏とともに磐田原・三方原の旧地・旧道、北遠犬居・犬居城を調査し、関係写真60余枚撮影、また三方原の旧地・旧道地図「浜松とその周辺」中、三方原古戦場はその西辺祝田坂上一帯であるべきものを、三方原中央追分北方を「三方原古戦場」としている誤りを発見した。

〔狩捕習俗調査〕

千葉所員は1974年11月25日～30日にかけて学生1名とともに奈良県十津川村において調査を行ない、京大霊長類研究所に報告を予定している。

著書・論文

〔久曾神所員〕

『物語和歌総覧 本文編』風間書房、樋口・藤井氏共編、1974年6月

『竹取物語』（影印本）汲古書院、1974年11月

- 「山名切と新撰朗詠集」『かな研究』1974年1月
「伝源俊頼筆唐紙歌合切」『かな研究』1974年7月
「冷泉孝恭臨写」『類聚鑑』(上)『かな研究』1974年10月
〔坂井所員〕
「山村社会の成立解体と親族組織」『三田学会雑誌』1974年6月
〔鈴木泰山所員〕
「曹洞宗教団略史」『跳竜』(曹洞宗大本山総持寺月刊誌)1973年12月～1974年3月
「可睡斎外史」『道元』(可睡斎)1974年3月・5月・6月・10月・11月(継統執筆中)
〔鈴木中正所員〕
『中国史における革命と宗教』東大出版会,1974年4月
“China, History of the Ch'ing Dynasty”, Encyclopaedia Britanica 15th Edition, 1974年
「清朝中期の対ベトナム関係」『愛知大学文学論叢』第50輯,1974年
〔田崎所員〕
「在村蘭学研究序説——三河を例に——」『愛知大学文学論叢』第50輯,1973年12年
「近代日本と洋学」『歴史と人物』1974年11月
「幕末明治期在村蘭方医の生き方——三州住人玄朴門武田元順の場合——」有坂隆道編『日本洋学史の研究Ⅲ』創元社(郷土研紀要 第14輯所収の論文を補訂転載)1974年6月
〔千葉所員〕
『はげ山の文化』学生社,1973年12月
「近代日本の常民的労働組織とその地域的展開」『愛知大学文学論叢』第51輯
〔夏目所員〕
「万葉集防人歌に見える 商長首麻呂の周辺」『同朋大学論叢』第30号,1974年6月
〔堀井所員〕
「名詞文の機能」『アカデミア』第97集,1974年3月
「地域社会と意味変化」『愛知大学総合郷土研究所紀要』第19輯,1974年3月10日
「アカデミー辞典」日本フランス語 フランス文学会編『フランス文学辞典』1974年9月5日
「〈Compte rendu〉 G. Mounin: Introduction á la sémiologie」『ロマンス語研究』7号,1974年10月10日
「ブシュケーの意味」『澤瀉久敬先生古稀記念文集』1974年10月16日
〔松下所員〕
『茶の博物誌』東京書房社,1974年7月24日

〔山下所員〕

“A Comparative Study of Turbidity in An Urban and A Rural Environment at Toronto”, Atmospheric Environment, 1974年6月

「地表面における放射収支と熱収支」 Climatological Reports, 1974年11月, 立教大学より発行

昭和49年度研究所組織

〔所長〕	川越 淳二		
〔所員〕	歌川 学	川越 淳二	久曾神 昇
	見城 幸雄	後藤 和夫	近藤 恒次
	坂井 達朗	島本彦次郎	鈴木 泰山
	鈴木 中正	田崎 哲郎	千葉 徳爾
	中出 惇	夏目 隆文	堀井令以知
	牧野 由朗	松下 智	宮沢 哲男
	山下 脩二		
〔運営委員〕	(庶務)	見城 幸雄	
	(企画)	島本彦次郎	
	(資料)	坂井 達朗	
	(編集)	歌川 学	
〔事務委託〕		山本 朝子	